

1 経営理念(ミッション・ビジョン)

2 めざす子供像

<p>I 教育に係るマネジメント (1)人を育てる人が育つ学校 <教師> (2)子供の姿で教育を語る学校 <子供> (3)シンプルイズベストが定着した学校 <高い質></p> <p>II 組織に係るマネジメント (1)ミドルリーダーが運営する企画委員会 (2)ミドルアップダウンによる組織運営・管理 (3)DCAPサイクルによるカリキュラムマネジメントの実施</p>	<p>柔軟に考える かしい子 挑戦する たくましい子 集中する さわやかな子</p> <p>『神石ING ~自分を磨き続ける~』</p>
---	--

3 経営目標・評価項目・評価・達成状況

評価基準 達成度＝達成値÷目標値×100 A(達成度100%以上) B(達成度100～80%) C(達成度80～60%) D(達成度60%未満)

	評価計画				自己評価						
	中期経営目標	短期経営目標	重点	目標達成のための手だて	評価指標		時期	達成値	短期経営目標の達成状況	評価	改善方策
					評価項目	目標数値					
確かな学力	基礎・基本の学力を定着させ、活用力を伸ばし、思考力・判断力・表現力を育てる	神石小版「学びの 変革アクションプラン」に基づき、児童が主体的に学ぶ課題発見・解決学習による協働的な学習をすすめることにより、児童の学力向上を図る	1	算数科を中心とした研究を推進し、授業改善を図る。課題発見・解決学習を展開し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 チャレンジタイムを中心に課題克服の学力補充を行う。	1 各学年の学期末(算数)の平均点が到達得点を上回る。	1 各学年平均(算数)÷到達得点=100%以上(全学年)	中間				
					2 標準学力調査(算数)の全学年の結果が、全国平均を上回る。	1 各学年平均(算数)÷到達得点=100%以上(全学年) 2 各学年平均(算数)÷全国平均=100%以上(全学年)					
豊かな心	他者と共によりよく生きようとする豊かな心を育てる	心を育て、豊かな生き方の基盤となる読書活動とあいさつ運動を推進する	2	1人1人の読書活動を通して保護者・児童・先生との交流を行う。 相手意識を持ったあいさつの取組を保健・生徒指導部や児童会を中心に進める。	1 様々な読書活動を通して、読書活動アンケートでの肯定的な回答をした児童・保護者の割合。	1 80%(肯定的な回答をした児童・保護者の割合) 2 75%(達成した児童の割合)	中間				
					2 児童・保護者アンケートでの肯定的回答の割合	1 90%(肯定的な回答をした児童・保護者の割合) 2 80%(達成した児童の割合)					
健やかな体	目標を持って進んで体をきたえ、やりぬく気力と体力を育てる	児童の健康な生活を創り出す力を育てる	3	スピード(走力)を向上させるために、体力アップカードを活用し、体力向上を図る。 基本的な生活習慣の定着を図るため、「生活チャレンジ」の強化月間を設定する。	1 新体力テストの「50m走」で県平均を上回る児童の割合	1 70%(達成した児童の割合) 2 75%(達成した児童の割合)	中間				
					2 課題の項目「起床、就寝時刻・メディアの時間」について、目標を達成できた児童の割合	1 80%(達成した児童の割合) 2 85%(達成した児童の割合)					
信頼される学校	児童・保護者・地域に信頼される開かれた学校を創る	安心して伸び伸びと力が発揮できる、児童・保護者も教職員も行きたい・行かせたい・勤めたい学校を創る 地域に関心と愛着を持ち、地域に貢献しようとする児童を育てる	4	全教職員が児童にかかわる場を設け、児童一人一人の実態をきめ細やかに把握し、迅速にかつチームで対応する。 総合学習・生活科や道徳科などでの学習を通して、自分たちの地域について詳しく学ぶことで、地域への関心と貢献しようとする意欲を高める。	1 児童・保護者・教師アンケートでの肯定的回答の割合	1 70%(アンケートの肯定的評価の割合) 2 80%(肯定的な回答をした児童の割合)	中間				
					2 総合学習・生活科や道徳科の児童アンケート項目「神石について学習するのは楽しいですか」に対する肯定的な回答をした児童の割合。	1 80%(アンケートの肯定的評価の割合) 2 90%(肯定的な回答をした児童の割合)					